

トヨタ自動車株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、トヨタ自動車株式会社（以下「本法人」）が発行する第 29 回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022 年 6 月 2 日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、1、安全なモビリティ社会の実現、交通弱者への移動機会の提供、2、自動車走行時におけるCO₂ 排出量の削減、3、工場・事業所等におけるCO₂ 排出量の削減のために充当される予定です。

また、本債券の発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則 2018、ソーシャルボンド原則 2020 およびサステナビリティボンド・ガイドライン 2018 に適合した「サステナビリティボンド・フレームワーク」を設定し、その整合性において、外部機関であるムーディーズESGソリューションズにより適合している旨のセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上